

お客様各位

令和3年3月12日

21-10

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎

TEL0985-52-6688

FAX0985-52-8093

検査受託中止項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、下記項目に付きまして、最終委託先内の検査項目統合にともない、検査受託を中止するはこびとなりましたのでご案内申し上げます。

急なご案内にて大変ご迷惑をお掛け致しますが、事情をご賢察の上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

◆ 受託中止項目

- クラミジア・トラコマチス核酸同定(SDA法)
- 淋菌核酸同定(SDA法)
- 淋菌およびクラミジア・トラコマチス核酸同定(SDA法)

◆ 受託中止期日： 令和3年3月27日(土)受付分まで

※ 代替え項目・詳細に付きましては裏面をご参照下さい

◆ クラミジア／淋菌／淋菌・クラミジア同時同定 採取方法

● 子宮頸管(女性)の場合

1. 子宮頸部の粘液除去



スワブ検体採取セット付属の粘液除去用ドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分ぬぐい取ります。

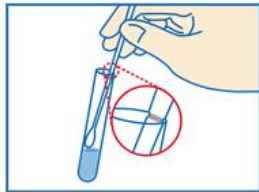
注意 粘液をぬぐったスワブは廃棄します。

2. 子宮頸管検体の採取



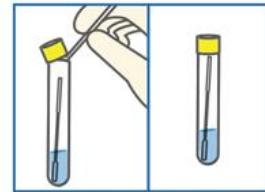
付属されている検体採取用フロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。(回し過ぎないでください。) スワブを引き抜く際は腔の粘膜に触れないように注意してください。

3. 子宮頸管検体の保存



コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したフロックスワブを、コバスPCRメディアチューブに入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。

4.



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、キャップで黒い線をはさむようにして折ります。

コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。

注意 手元に残った折られた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。

● うがい液の場合

1. うがいの仕方



生理食塩水(日局方など)をコップに15~20mL入れてください。生理食塩水15~20mLを口に含み、顔を上に向けて10~20秒間、勢いよく“ガラガラ”とうがいを行います。

注意 口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を合わせてうがい液とします。

● 尿の場合

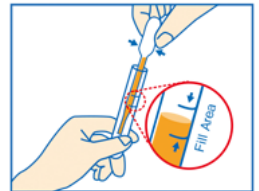
1. 尿検体の採取



滅菌済み容器に初尿を採取します。滅菌済みスポイトを用いて、初尿をコバスPCRメディアに移します。

注意 初尿は採取後2~30℃で24時間以内にPCRメディアに移してください。

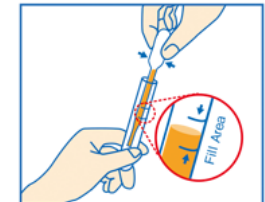
2. 検体輸送液への懸濁



うがい液全量とうがい用容器に回収し、スポイトでコバスPCRメディア(尿・うがい用)に必要量添加します。

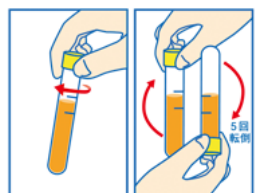
注意 うがい液はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。

2. 専用容器への分注



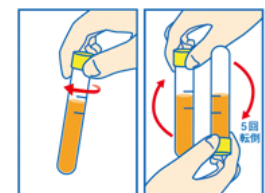
コバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。

3. 検体容器の保管



PCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。PCRメディアを5回転倒混合させてください。

3. 尿検体の保存



コバスPCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。コバスPCRメディアを5回転倒混合させてください。